

平成 31 年 1 月 31 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 2 6 5 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. アグリサーチャーにロボットとの対話型検索システム（チャットボット）を試験導入します
2. 平成 31 年度の水田活用の直接支払交付金について
3. 動物検疫所より～春節で中国に旅行される皆様へ～手荷物検査強化中
4. 農林水産技術会議事務局から研究成果情報等のお知らせ

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. アグリサーチャーにロボットとの対話型検索システム（チャットボット）を試験導入します】
農業に関する研究成果を手軽に検索できるウェブサイト「アグリサーチャー」ではより一層の利便性の向上と利用拡大に向けて、1月17日よりロボットとの対話型検索システム（チャットボット）の試験導入を開始しました。詳しくはこちらをご覧ください。

◇使い方

http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/2019011lag_chatbott_howtouse.pdf

◇プレスリリース

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/190117.html>

また、アグリサーチャーニュースではアクセスの多い研究成果等をご紹介します。今回は「高温期ハウレンソウの収穫前遮光除去・晴天日遭遇後収穫による品質向上技術」をご紹介します。ぜひご覧ください。

◇アグリサーチャーニュースはこちら

<http://www.affrc.maff.go.jp/agresearcher/news/index.htm>

◇アグリサーチャーはこちら

<https://mieruka.dc.affrc.go.jp/>

「イベント」「動画」情報もご覧頂けるようになりました。

◇ユーザー登録もぜひお願いします。

<https://mieruka.dc.affrc.go.jp/user/add>

◇問い合わせ先：

【2. 平成31年度の水田活用の直接支払交付金について】

31年度の水田活用の直接支払交付金の予算においては、

(1) 飼料用米などの戦略作物助成の現行単価や助成体系を引き続き維持した上で、これらの作物の生産拡大にもしっかりと対応できる額にするとともに、

(2) 産地交付金についても、基本的な仕組みを維持した上で、主食用米からの更なる転換促進のためのメニューを追加措置し、

この追加措置も含めて必要な額として3,215億円（平成30年度補正後予算額比+156億円）という十分な額を計上したところです。

<主な追加措置>

○平成31年度緊急転換加算（5千円/10a）

都道府県ごとにみて、転換作物が拡大し、主食用米の面積が30年度より減少した場合に、その面積に応じて産地交付金を追加配分。

○高収益作物等拡大加算（2.0万円/10a）

地域農業再生協議会ごとにみて、主食用米の面積が30年度より減少した場合に、その面積に応じて産地交付金を追加配分。ただし、30年産で、高収益作物等を減少させた協議会は、31年産で当該減少面積の1/2以上を拡大させることが要件。

※高収益作物等：高収益作物（園芸作物等）、新市場開拓用米、加工用米、飼料用とうもろこし

主食用米の需要が毎年減少している中で、飼料用米などの主食用米以外の作物への転換により水田のフル活用を進めていくことが重要です。本予算も活用しつつ、需要に応じた生産への取組をお願いします。

◇水田活用の直接支払交付金の追加措置に係る詳細はこちら（P19～P20）

http://www.maff.go.jp/j/seisan/kikaku/attach/pdf/kome_siryou-222.pdf

◇お問い合わせ先

農林水産省政策統括官付穀物課水田農業対策室

TEL : 03-3597-0191（直通）

【3. 動物検疫所より～春節で中国に旅行される皆様へ～手荷物検査強化中】

昨年中国で発生したアフリカ豚コレラは、その後急速に中国全土に拡がり、1月にはモンゴルでも発生が確認されました。日本国内の空港では、中国からの旅行者の手荷物中の豚肉製品から、アフリカ豚コレラウイルスの遺伝子が複数回確認されています。

アフリカ豚コレラは、ウイルスに汚染された肉等によっても感染し、ワクチンや治療法もありません。

アフリカ豚コレラの日本への侵入を防ぐために、動物検疫所では入国時の手荷物検査を強化してお

り、肉製品の不正な持ち込みが確認された場合には3年以下の懲役又は100万円以下の罰金が科される場合があります。

中国にご旅行の際は、肉製品を日本に持ち帰らないようお願いします。また、中国で農場に立ち入ったり、家畜に触れたりしないようにしてください。

万が一、農場に立ち入った場合には、帰国時、税関検査の前に動物検疫カウンターへお立ち寄りくださいますようお願いいたします。

◇詳しくはこちら

<http://www.maff.go.jp/aqs/topix/mizugiwa.html>

◇動物検疫所からのお知らせ（動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=adgTHW1E3jo>

◇お問合せ先

農林水産省動物検疫所企画管理部企画調整課

TEL：045-751-5923

【4. 農林水産技術会議事務局から研究成果情報等のお知らせ】

◇濃い紫色で食味の良い紫サツマイモ新品種「ふくむらさき」 - 「べにはるか」並に糖度が高く、しっとりとした食感 -

農研機構は、食味の良い紫サツマイモ新品種「ふくむらさき」を育成しました。現在主力品種として普及している紫サツマイモ品種「パープルスイートロード」より紫色が濃く、食味も優れています。蒸しいもや焼きいもの糖度は「べにはるか」並に高く、しっとりとした食感です。関東を中心とする青果用サツマイモ産地において、良食味の紫サツマイモ品種として普及する予定です。

[農研機構]

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/120215.html

◇ICTを活用した圃場（ほじょう）-水利施設連携による 効率的な配水管理制御システムを開発

農研機構は、ICTを活用して土地改良区等が管理するポンプ場から農家が管理する圃場の自動給水栓までを連携させ、水利用に応じた効率的な配水を行う水管理制御システムiDAS（アイダス）を開発しました。開発したシステムは、パイプラインによる水田灌漑かんがい地区の施設管理者の省力化、農業用水の節水、ポンプ電力の節減への貢献が期待されます。

[農研機構]

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nire/119976.html

◇農業用ポンプ設備の突発的な故障停止を防ぐリアルタイム遠方監視システム - 機械の血液「潤滑油」をオンライン診断 -

運転中の大規模ポンプ設備の潤滑油を常時分析・評価することにより、ポンプの異常兆候をリアル

タイムに検出する遠方監視システムを開発しました。異常データが発生すると設備管理者の携帯端末に自動で通知されることにより故障停止の危険性を察知できます。

[農研機構][トライボテックス][クボタ]

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nire/120378.html

◇フラワーアレンジメントが高次脳機能障害者の記憶力向上に効果

事故や脳卒中などにより認知機能に障害を負った高次脳機能障害の方々がフラワーアレンジメントを利用した認知機能の訓練(SFAプログラム)を実施すると、記憶力が向上し、その効果が3ヵ月間保たれることを明らかにしました。

[農研機構][茨城県立医療大学]

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/120587.html

◇お問い合わせ先

URLリンク先に記載の各機関に直接お問い合わせ願います。

◆◆◆編集後記◆◆◆

今週末は節分ですね。我が家では、親が鬼役となって豆まきをするのが恒例となのですが、鬼に追いかけられるのが怖い子供たちは、今年は自分たちが鬼役をやるそうです。久しぶりの豆まき係を楽しみたいと思います。(金彦)

■ 経営局公式Facebookページ「農水省・農業経営者net」

→ <http://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンクURLの一部にPDF形式のものがあります

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。PDFファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3PDFファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンでAdobeReaderをダウンロードしてください。

→ <http://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月1回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：吉田、金彦（かねた）、兼田

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

